

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構  
第1期中期目標に係る事業報告書に関する公告

地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）第29条第1項の規定に基づき、地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構第1期中期目標に係る事業報告書について、別紙のとおり公告します。

平成24年9月25日

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構  
理事長 栗谷義樹

# 地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構

## 第1期中期目標期間事業報告書

第1期：平成20年4月1日～平成24年3月31日

平成24年6月

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構

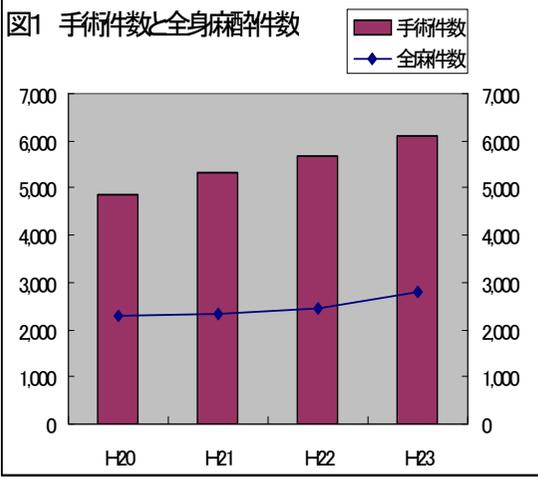
## 第1期中期目標の項目に対応する目次

第1 中期目標の期間	P 1	第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項	P17
第2 住民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項		1 弾力的な運営体制の確立	
1 医療機能の統合再編及び施設整備		2 診療体制、人員配置の弾力的運用	
(1) 統合再編後の医療機能		3 収益の増	P18
(2) 施設整備	P 2	4 費用の節減	P19
(3) 施設整備完了時までの診療計画	P 3	第4 財務内容の改善に関する事項	P 20
2 高度専門医療の提供及び医療水準の向上	P 4	1 経常収支比率の均衡	
(1) 高度専門医療の充実		2 資金収支の均衡	
①診療体制の整備		第5 その他業務運営に関する重要事項	P 21
②高度医療機器の計画的な更新・整備		1 人事に関する事項	
③災害時における協力		2 職員の就労環境の整備	P 22
④政策医療の実施		3 医療機器・施設整備に関する事項	
(2) 優れたスタッフの確保	P10	4 法人が負担する債務の償還に関する事項	P 23
①優秀な医師の確保と医師の負担軽減			
②看護職及び医療技術職の専門性の向上			
③事務職員の確保と専門性の向上			
(3) 医療サービスの効果的な提供	P12		
①地域連携の推進			
②クリティカルパスの活用			
(4) 教育研修事業の充実	P14		
①庄内地域における医療水準の向上			
②住民の意識の啓発			
3 患者・住民サービスの一層の向上	P15		
4 統合再編に関する住民への広報	P16		
5 法令等の遵守と情報公開の推進			

第1期中期目標	第1期中期計画	事業実績															
<p><b>第1 中期目標の期間</b> 平成20年4月1日から平成24年3月31日までの4年間とする。</p> <p><b>第2 住民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</b></p> <p><b>1 医療機能の統合再編及び施設整備</b> 県・市病院機構は運営する2病院について、山形県・酒田市病院統合再編整備基本構想（平成19年3月。以下「基本構想」という。）に基づき、次により医療機能の統合再編と酒田市立酒田病院の老朽化等に伴う施設整備を行うこととしている。</p> <p><b>（1）統合再編後の医療機能</b> 統合再編の効果を最大限に発揮し、より安心、信頼、高度な地域医療を提供するため、医師等医療従事者の集約と病院機能の分担を進めることとし、平成23年度の施設整備完了時において、日本海総合病院及び酒田医療センターは、次の表に掲げる基本的な機能を担うとともに、地域の医療水準の向上にも寄与するため、必要な診療機能を確保すること。 特に、三次救急医療については、庄内地域及び最上地域の一部をカバーする救命救急センター（新型）を整備すること。 ＜表割愛＞</p>	<p><b>第1 住民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</b></p> <p><b>1 医療機能の統合再編及び施設整備</b></p> <p><b>（1）統合再編後の医療機能</b> 日本海総合病院及び日本海総合病院酒田医療センター（以下「酒田医療センター」という。）は、施設整備が完了する平成23年度において、次の表に掲げる医療機能を担う。 ＜表割愛＞</p>	<p><b>第1 中期目標の期間</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成20年4月1日から平成24年3月31日までの4年間を第1期中期計画期間とした。この間、毎年度、年度別事業計画を策定し計画に沿って病院運営を行った。</li> <li>平成21年度に中期計画の変更を行った。（指令健企第58号 平成22年3月16日 山形県知事認可） 理由：医療機能（診療科等）の変更があったため。</li> </ul> <p><b>1 医療機能の統合再編及び施設整備</b></p> <p><b>【病院統合再編までの主な経過】</b></p> <p>平成18年11月10日 山形県・酒田市病院統合再編協議会 第1回運営委員会 平成19年3月30日 第2回山形県・酒田市病院統合再編協議会 「山形県・酒田市病院統合再編整備基本構想」を決定 平成20年2月21日 地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構設立認可申請 申請先：総務大臣 増田 寛也 申請者：山形県知事 齋藤 弘 酒田市長 阿部 寿一 平成20年3月24日 地方独立行政法人設立認可書 総財公第42号 総務大臣 増田 寛也 平成20年4月1日 地方独立行政法人設立登記</p> <p><b>（1）統合再編後の医療機能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>統合再編時より両病院間で医師等の医療従事者の集約と診療機能の分担を進めた。日本海総合病院は急性期病院としての施設整備を行い、平成22年10月から11月にかけて全ての外来診療・救急機能等の集約を行った。</li> <li>平成23年4月1日に日本海総合病院に併設した救命救急センターの供用を開始した。</li> <li>酒田医療センターを療養病床に転換した。</li> </ul> <p><b>【表1 両病院の診療機能 平成24年3月31日現在】</b></p> <table border="1" data-bbox="864 1026 2112 1441"> <thead> <tr> <th></th> <th>日本海総合病院</th> <th>酒田医療センター</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病床数</td> <td>一般病床646床（うち救命救急センター24床）</td> <td>療養病床114床</td> </tr> <tr> <td>診療科</td> <td>内科、循環器内科、消化器内科、内視鏡内科、精神科、神経内科、小児科、外科、乳腺外科、小児外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、リハビリテーション科、皮膚科、産婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科（以上25診療科）</td> <td>内科、リハビリテーション科（以上2診療科）</td> </tr> <tr> <td>特殊診療機能</td> <td>ICU（集中治療室）、HCU（準集中治療室）、未熟児室、感染症病床、放射線治療、外来がん化学療法、セカンドオピニオン外来、緩和ケア、人工透析（急性期）、人間ドック、地域医療室（地域連携・在宅療養支援）</td> <td>地域医療室（地域連携・在宅療養支援）</td> </tr> <tr> <td>併設施設等</td> <td>救命救急センター、屋上ヘリポート、院内保育所（酒田市病児・病後児保育含む）、認知症疾患医療センター、重症心身障がい児（者）短期入所</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		日本海総合病院	酒田医療センター	病床数	一般病床646床（うち救命救急センター24床）	療養病床114床	診療科	内科、循環器内科、消化器内科、内視鏡内科、精神科、神経内科、小児科、外科、乳腺外科、小児外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、リハビリテーション科、皮膚科、産婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科（以上25診療科）	内科、リハビリテーション科（以上2診療科）	特殊診療機能	ICU（集中治療室）、HCU（準集中治療室）、未熟児室、感染症病床、放射線治療、外来がん化学療法、セカンドオピニオン外来、緩和ケア、人工透析（急性期）、人間ドック、地域医療室（地域連携・在宅療養支援）	地域医療室（地域連携・在宅療養支援）	併設施設等	救命救急センター、屋上ヘリポート、院内保育所（酒田市病児・病後児保育含む）、認知症疾患医療センター、重症心身障がい児（者）短期入所	
	日本海総合病院	酒田医療センター															
病床数	一般病床646床（うち救命救急センター24床）	療養病床114床															
診療科	内科、循環器内科、消化器内科、内視鏡内科、精神科、神経内科、小児科、外科、乳腺外科、小児外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、リハビリテーション科、皮膚科、産婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科（以上25診療科）	内科、リハビリテーション科（以上2診療科）															
特殊診療機能	ICU（集中治療室）、HCU（準集中治療室）、未熟児室、感染症病床、放射線治療、外来がん化学療法、セカンドオピニオン外来、緩和ケア、人工透析（急性期）、人間ドック、地域医療室（地域連携・在宅療養支援）	地域医療室（地域連携・在宅療養支援）															
併設施設等	救命救急センター、屋上ヘリポート、院内保育所（酒田市病児・病後児保育含む）、認知症疾患医療センター、重症心身障がい児（者）短期入所																

第1期中期目標	第1期中期計画	事業実績																		
<p><b>(2) 施設整備</b></p> <p>基本構想に基づき、老朽化した酒田市立酒田病院の代替施設の整備を図り医療機能の統合再編を実現するため、県・市病院機構が所要の施設整備を行うこととしている。</p> <p>施設整備に当たっては、医療機能の統合再編によって担うべき診療機能及び患者ニーズに対応した施設内容とすること、日本海総合病院については、特に、増築・改修となることから、病院機能の全体最適化が図られることに留意して整備すること。</p> <p>併せて、現酒田病院の東棟の改築・改修も実施されるが、日本海総合病院も含めて、将来の医療需要にも対応できる柔軟な施設構成に配慮するとともに、県・市病院機構の運営により建設費の償還が可能となるよう、建設及び維持管理コストについても留意すること。</p> <p>なお、日本海総合病院の施設整備については、住民に混乱なく安定的に医療を提供するため早期の施設整備が必要であり、平成22年度までの完成を期すこととし、酒田医療センターの改築・改修についてもできる限り早期の施設整備を行うこと。</p>	<p><b>(2) 施設整備</b></p> <p>(1)における医療機能の統合再編を実施するため、所要の施設整備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設整備に当たっては、医療機能の統合再編によって担うべき診療機能及び患者ニーズに対応した施設内容とするとともに、将来の医療需要にも対応できる柔軟な施設構成に配慮する。</li> <li>県・市病院機構の運営により建設費の償還が可能となるよう、建設及び維持管理コストについても留意する。</li> </ul> <p>&lt;表割愛&gt;</p>	<p><b>(2) 施設整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本海総合病院を急性期病院、酒田医療センターを回復期・療養型病院として施設整備を行った。</li> <li>日本海総合病院の増改築・改修工事については、増築工事（南棟）が平成22年度8月末に竣工したため、その後10月より酒田医療センターから診療科の移行を行った。</li> <li>日本海総合病院の増築工事にかかる建設単価については、公立病院改革ガイドラインに示された30万円以内/㎡に抑えた。</li> <li>酒田医療センターについては、東棟の療養病床への転換のための改修と回復期リハビリテーション病棟の増築を平成22年末から平成24年度にかけて整備を図る。</li> </ul> <p>【表2-1 日本海総合病院の施設整備状況 平成24年3月31日現在】</p> <p>増築床面積 16,027㎡ 総面積 54,548㎡</p> <p>事業費 日本海総合病院増築改修工事 5,584,120,500円</p> <p>院内保育所増築工事 29,393,700円</p> <p>病児・病後児保育施設増築工事 12,369,000円</p> <p>駐車場整備工事 66,230,850円</p> <table border="1" data-bbox="882 628 1930 1075"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>整 備 概 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>増築工事</td> <td>救命救急センター、屋上ヘリポート、外来診察室(17ブース)、南棟病床118床(うち人間ドック6床)、内視鏡室、手術室(5室)、放射線部門(CT、アンギオ等)、化学療法室、PET棟を増設</td> </tr> <tr> <td>改修工事</td> <td>産科病棟(LDR室、陣痛室、分娩室、新生児室、重症室)、栄養給食部門(事務室、検収室、食品庫等)、薬局(薬局長室、薬剤師室、ミキシング室、DI室、薬品庫)、手術室、放射線部門、検査部門等を改修</td> </tr> <tr> <td>院内保育所増築工事</td> <td>木造平屋建(遊戯室、渡り廊下他)。床面積：168.94㎡ 定員20名→30名</td> </tr> <tr> <td>病児・病後児保育施設増築工事</td> <td>木造平屋建。床面積：50.4㎡ 定員3名</td> </tr> <tr> <td>駐車場拡張工事</td> <td>患者用120台分拡張、職員用400台分拡張(職員)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【表2-2 酒田医療センターの施設整備状況 平成24年3月31日現在】</p> <p>増築面積 2,961㎡ 総面積 10,064㎡ 事業費 1,913,105,250円</p> <table border="1" data-bbox="882 1187 1930 1315"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>整 備 概 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東棟改修</td> <td>医療療養病床70床、機能訓練室、事務室</td> </tr> <tr> <td>回復期リハビリテーション病棟増築</td> <td>回復期リハビリテーション病棟44床、デイケア施設、給食施設</td> </tr> </tbody> </table>	項 目	整 備 概 要	増築工事	救命救急センター、屋上ヘリポート、外来診察室(17ブース)、南棟病床118床(うち人間ドック6床)、内視鏡室、手術室(5室)、放射線部門(CT、アンギオ等)、化学療法室、PET棟を増設	改修工事	産科病棟(LDR室、陣痛室、分娩室、新生児室、重症室)、栄養給食部門(事務室、検収室、食品庫等)、薬局(薬局長室、薬剤師室、ミキシング室、DI室、薬品庫)、手術室、放射線部門、検査部門等を改修	院内保育所増築工事	木造平屋建(遊戯室、渡り廊下他)。床面積：168.94㎡ 定員20名→30名	病児・病後児保育施設増築工事	木造平屋建。床面積：50.4㎡ 定員3名	駐車場拡張工事	患者用120台分拡張、職員用400台分拡張(職員)	項 目	整 備 概 要	東棟改修	医療療養病床70床、機能訓練室、事務室	回復期リハビリテーション病棟増築	回復期リハビリテーション病棟44床、デイケア施設、給食施設
項 目	整 備 概 要																			
増築工事	救命救急センター、屋上ヘリポート、外来診察室(17ブース)、南棟病床118床(うち人間ドック6床)、内視鏡室、手術室(5室)、放射線部門(CT、アンギオ等)、化学療法室、PET棟を増設																			
改修工事	産科病棟(LDR室、陣痛室、分娩室、新生児室、重症室)、栄養給食部門(事務室、検収室、食品庫等)、薬局(薬局長室、薬剤師室、ミキシング室、DI室、薬品庫)、手術室、放射線部門、検査部門等を改修																			
院内保育所増築工事	木造平屋建(遊戯室、渡り廊下他)。床面積：168.94㎡ 定員20名→30名																			
病児・病後児保育施設増築工事	木造平屋建。床面積：50.4㎡ 定員3名																			
駐車場拡張工事	患者用120台分拡張、職員用400台分拡張(職員)																			
項 目	整 備 概 要																			
東棟改修	医療療養病床70床、機能訓練室、事務室																			
回復期リハビリテーション病棟増築	回復期リハビリテーション病棟44床、デイケア施設、給食施設																			

第1期中期目標	第1期中期計画	事業実績															
<p><b>(3) 施設整備完了時までの診療計画</b></p> <p>県・市病院機構においては、日本海総合病院の増築・改修が終了までの期間（平成20年度から22年度まで、以下「移行期」という。）については、現日本海病院及び現酒田病院の施設を使用し、医療を提供していくこととなる。</p> <p>この移行期においても、統合再編効果を医療機能の向上と患者サービスに反映させるため、2病院における診療科の統合再編が必要であるが、実施に当たっては、医療の安全性の確保及び住民への周知等に配慮すること。</p>	<p><b>(3) 施設整備完了時までの診療計画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本海総合病院の増築・改修が終了までの期間（平成20年度から22年度まで、以下「移行期」という。）においても、統合再編効果を医療機能の向上と患者サービスに反映させるため、次表のとおり一時的な診療科の統合再編を行う。</li> <li>実施に当たっては、混乱が生じないように、住民への周知等に配慮する。</li> <li>移行期における救急体制については、日本海総合病院を中心として行うことになるが、整形外科及び消化器科については、酒田医療センターが診療を行う。ただし、整形外科及び消化器科の救急患者であっても他の疾患を併発している場合は日本海総合病院で対応することとする。このため、消防等関係機関との連絡を密にし、両病院で連携を取りながら救急医療を提供していく。</li> <li>複数診療科を受診する患者の利便性を従来どおり確保するため、両病院間に患者移動用ワゴン車を運行する。</li> </ul>	<p><b>(3) 施設整備完了時までの診療計画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年度中の日本海総合病院の施設整備が完了するまでの期間については、両病院において急性期医療を分担し、統合の効果を医療機能の向上に反映させた。両病院で医療機能の集約と再編を行った。特に、医師数が少ない診療科においては、日本海総合病院への集約を行い医師の負担軽減を図った。</li> </ul> <p><b>①日本海総合病院</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本海総合病院に診療科を集約したが、施設整備が完了するまではスペース等が限られることから、消化器内科、整形外科、精神科等の診療の主体を酒田医療センターに置いた。</li> <li>救急医療体制は、住民や消防等関係機関に混乱が生じないように、広報活動や関係機関との調整を図りながら進めた。</li> </ul> <p><b>②酒田医療センターの体制</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本海総合病院の施設整備が完了するまでの間集約できない診療科については、酒田医療センターで担った。内科は外来のみとし、消化器科、整形外科、神経科・精神科の診療を行った。</li> <li>両病院間に患者移動用のワゴン車を1日10往復運行した。</li> </ul> <p><b>【表3 診療科の移行】</b></p> <table border="1" data-bbox="882 699 1955 1252"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本海総合病院</td> <td>内科、循環器内科、消化器内科、内視鏡内科、精神科、神経内科、小児科、外科、乳腺外科、小児外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、リハビリテーション科、皮膚科、産婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科 (以上25診療科)</td> <td colspan="3" style="text-align: center;"> </td> </tr> <tr> <td>酒田医療センター</td> <td>内科、消化器科、整形外科、産婦人科、神経科・精神科、放射線科、麻酔科 (以上7診療科)</td> <td colspan="3" style="text-align: center;"> </td> </tr> </tbody> </table>		H20	H21	H22	H23	日本海総合病院	内科、循環器内科、消化器内科、内視鏡内科、精神科、神経内科、小児科、外科、乳腺外科、小児外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、リハビリテーション科、皮膚科、産婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科 (以上25診療科)				酒田医療センター	内科、消化器科、整形外科、産婦人科、神経科・精神科、放射線科、麻酔科 (以上7診療科)			
	H20	H21	H22	H23													
日本海総合病院	内科、循環器内科、消化器内科、内視鏡内科、精神科、神経内科、小児科、外科、乳腺外科、小児外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、リハビリテーション科、皮膚科、産婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科 (以上25診療科)																
酒田医療センター	内科、消化器科、整形外科、産婦人科、神経科・精神科、放射線科、麻酔科 (以上7診療科)																

第1期中期目標	第1期中期計画	事業実績																																																																																																																			
<p><b>2 高度専門医療の提供及び医療水準の向上</b></p> <p>(1) 高度専門医療の充実</p> <p>① 診療体制の整備</p> <p>医療需要の質的・量的変化や新たな医療課題に適切に対応するため、患者動向や医療需要の変化に即して診療部門の充実及び見直しを行うこと。また、地域住民の医療ニーズに応じた専門外来の設置及び充実を進めるなど、診療体制の整備等を図ること。</p>		<p><b>2 高度専門医療の提供及び医療水準の向上</b></p> <p>(1) 高度専門医療の充実</p> <p>① 診療体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本海総合病院に手術室を7室から12室に増室して医療機能を集約化したことにより、手術件数は大幅に増加した。</li> <li>手術室のうち2室は内視鏡(腹腔鏡、胸腔鏡など)を行う設備を整え、胆のう摘出術、胃切除術、大腸切除、肺部分切除、食道手術、子宮筋腫、卵巣腫瘍等の手術を行っている。</li> </ul> <p>【表4 手術件数】図1 ※日本海総合病院と酒田医療センターの合算値</p> <table border="1" data-bbox="913 427 1525 1023"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>外科</td><td>1,165</td><td>1,266</td><td>1,265</td><td>1,250</td></tr> <tr><td>整形外科</td><td>1,282</td><td>1,210</td><td>1,147</td><td>1,300</td></tr> <tr><td>形成外科</td><td>495</td><td>515</td><td>541</td><td>585</td></tr> <tr><td>脳神経外科</td><td>172</td><td>149</td><td>136</td><td>147</td></tr> <tr><td>心臓血管外科</td><td>193</td><td>236</td><td>257</td><td>258</td></tr> <tr><td>呼吸器外科</td><td>119</td><td>112</td><td>166</td><td>167</td></tr> <tr><td>皮膚科</td><td>0</td><td>5</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>泌尿器科</td><td>518</td><td>534</td><td>535</td><td>559</td></tr> <tr><td>産婦人科</td><td>327</td><td>268</td><td>299</td><td>300</td></tr> <tr><td>眼科</td><td>230</td><td>699</td><td>902</td><td>981</td></tr> <tr><td>耳鼻咽喉科</td><td>315</td><td>316</td><td>312</td><td>303</td></tr> <tr><td>歯科口腔外科</td><td>22</td><td>27</td><td>48</td><td>60</td></tr> <tr><td>麻酔科</td><td>8</td><td>4</td><td>28</td><td>29</td></tr> <tr><td>精神科</td><td>0</td><td>0</td><td>23</td><td>159</td></tr> <tr><td>合計</td><td>4,846</td><td>5,341</td><td>5,659</td><td>6,098</td></tr> </tbody> </table> <p>【表5 全身麻酔件数】図1</p> <table border="1" data-bbox="913 1098 1541 1225"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>日本海総合病院</td><td>1,792</td><td>1,928</td><td>2,255</td><td>2,795</td></tr> <tr><td>酒田医療センター</td><td>495</td><td>400</td><td>193</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>【表6 主な先進医療手術】</p> <table border="1" data-bbox="913 1297 1541 1457"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>腹腔鏡下手術</td><td>237</td><td>277</td><td>268</td><td>267</td></tr> <tr><td>胸腔鏡下手術</td><td>76</td><td>76</td><td>104</td><td>113</td></tr> <tr><td>神経内視鏡下手術</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>3</td></tr> </tbody> </table> <p>図1 手術件数と全身麻酔件数</p> 		H20	H21	H22	H23	外科	1,165	1,266	1,265	1,250	整形外科	1,282	1,210	1,147	1,300	形成外科	495	515	541	585	脳神経外科	172	149	136	147	心臓血管外科	193	236	257	258	呼吸器外科	119	112	166	167	皮膚科	0	5	0	0	泌尿器科	518	534	535	559	産婦人科	327	268	299	300	眼科	230	699	902	981	耳鼻咽喉科	315	316	312	303	歯科口腔外科	22	27	48	60	麻酔科	8	4	28	29	精神科	0	0	23	159	合計	4,846	5,341	5,659	6,098		H20	H21	H22	H23	日本海総合病院	1,792	1,928	2,255	2,795	酒田医療センター	495	400	193			H20	H21	H22	H23	腹腔鏡下手術	237	277	268	267	胸腔鏡下手術	76	76	104	113	神経内視鏡下手術	0	0	1	3
	H20	H21	H22	H23																																																																																																																	
外科	1,165	1,266	1,265	1,250																																																																																																																	
整形外科	1,282	1,210	1,147	1,300																																																																																																																	
形成外科	495	515	541	585																																																																																																																	
脳神経外科	172	149	136	147																																																																																																																	
心臓血管外科	193	236	257	258																																																																																																																	
呼吸器外科	119	112	166	167																																																																																																																	
皮膚科	0	5	0	0																																																																																																																	
泌尿器科	518	534	535	559																																																																																																																	
産婦人科	327	268	299	300																																																																																																																	
眼科	230	699	902	981																																																																																																																	
耳鼻咽喉科	315	316	312	303																																																																																																																	
歯科口腔外科	22	27	48	60																																																																																																																	
麻酔科	8	4	28	29																																																																																																																	
精神科	0	0	23	159																																																																																																																	
合計	4,846	5,341	5,659	6,098																																																																																																																	
	H20	H21	H22	H23																																																																																																																	
日本海総合病院	1,792	1,928	2,255	2,795																																																																																																																	
酒田医療センター	495	400	193																																																																																																																		
	H20	H21	H22	H23																																																																																																																	
腹腔鏡下手術	237	277	268	267																																																																																																																	
胸腔鏡下手術	76	76	104	113																																																																																																																	
神経内視鏡下手術	0	0	1	3																																																																																																																	

第1期中期目標

第1期中期計画

事業実績

a) 救急医療

- ・救命救急センターの整備
- ・酒田地区広域行政組合と連携した救急ワークステーション整備の検討
- ・地元医師会等との連携による救急患者トリアージの導入検討

b) がん医療

- ・地域がん診療連携拠点病院としての機能充実
- ・手術、放射線療法及び化学療法を効果的に組み合わせた治療の実施
- ・外来がん化学療法室整備
- ・緩和ケア医療の充実
- ・セカンドオピニオン外来の充実
- ・院内がん登録機能、相談支援体制の充実

②チーム医療

- ・医師、看護師、医療技術者によるチーム医療を実践している。特にNST活動については専従の管理栄養士を配置して活動を行なった。

【表7 NST活動の実績】

年度	H20	H21	H22	H23
件数	83	43	67	91

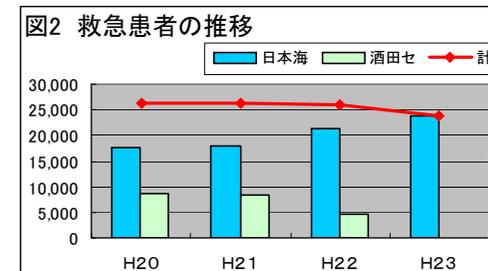
a) 救急医療

- ・救命救急センターを整備した(平成23年4月～)。
- ・酒田地区広域行政組合の救急ワークステーションを整備した(平成23年4月～)。
- ・酒田地区医師会所属医師の協力による平日夜間の一次救急患者の診療支援を実施した。(小児：平成20年4月～、成人：平成23年4月～)

【表8 救急外来及び救命救急センター患者数】※図2

	H20	H21	H22	H23
日本海総合病院	17,622	17,798	21,427	23,856
酒田医療センター	8,570	8,402	4,586	—

※H22.11より救急告示病院の届出を廃止(酒田医療センター)



b) がん医療

- ・外来がん化学療法室を増設(16床)、地域医療室に緩和ケア、相談支援のため専門職員を配置、がん登録担当職員の配置などにより、地域がん診療連携拠点病院として設備整備や相談体制の機能強化を行った。
- ・「がん」の手術件数が増加した。
- ・PET/CTの平成24年6月導入に向けて、PETセンター棟の増築工事を平成23年度に実施した。
- ・平成20年度から緩和ケアチームに緩和ケア認定看護師を専従として配置し、毎週1回の緩和ケアチームカンファレンスと病棟回診を定着させ、いつでも相談が受けられる体制を整えた。(平成23年度から回診を週3回とした)。

【表9 「がん」の手術件数(日本海総合病院)】図3

年度	H20	H21	H22	H23
手術件数	881	995	1,047	1,065

【表10 放射線治療件数】図3

年度	H20	H21	H22	H23
延べ患者数	5,793	7,592	9,530	9,513

第1期中期目標

第1期中期計画

事業実績

【表1-1 外来化学療法件数】図3

年度	H20	H21	H22	H23
延べ患者数	1,633	2,177	3,015	3,896

【表1-2 緩和ケア件数】

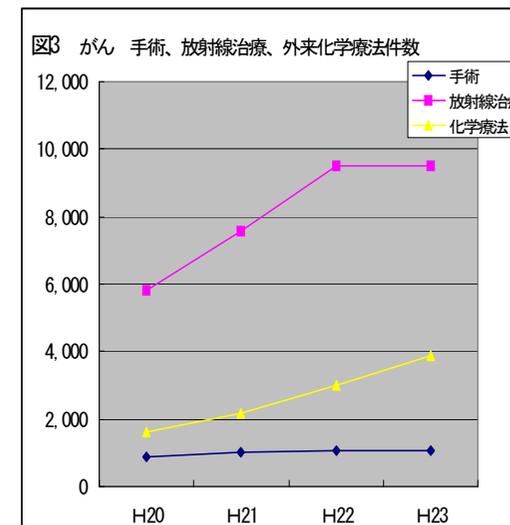
	H20	H21	H22	H23
病棟回診数	218	304	286	383
緩和ケア外来患者数	72	76	102	100

【表1-3 「がん相談」件数】

年度	H20	H21	H22	H23
相談件数	107	438	580	934

【表1-4 セカンドオピニオン外来の件数】

年度	H20	H21	H22	H23
患者数	5	4	5	2



c) 脳卒中

- ・急性心筋梗塞
- ・専門的医療やCT・MRI検査の24時間対応
- ・急性期リハビリテーションの充実

c) 脳卒中・急性心筋梗塞

- ・ 専門的医療やCT・MRI検査及び読影診断への24時間対応の体制をとった。
- ・ MRI (3T)の整備(H22)、320列CTのレンタルによる導入(H22)
- ・ 急性期リハビリテーションの充実  
平成21年度から心大血管疾患リハビリテーション料Iを取得  
平成22年度から運動器リハビリテーション料Iを取得

【表1-5 脳卒中・急性心筋梗塞に係るCT・MRI実施件数(日本海総合病院)】

① 脳卒中(「脳梗塞、くも膜下出血、脳動脈瘤、脳内出血」で、実施した年度別件数)

	H20	H21	H22	H23
CT	1,305	1,178	1,135	1,060
MRI	1,085	973	985	997

② 「心筋梗塞、狭心症」で、実施した年度別心筋梗塞(件数)

	H20	H21	H22	H23
CT	381	281	209	220
MRI	45	31	31	32

第1期中期目標

第1期中期計画

事業実績

d) 糖尿病

- チーム医療による食事療法、運動療法、薬物療法等を組み合わせた教育入院等の集中的治療の充実

d) 糖尿病

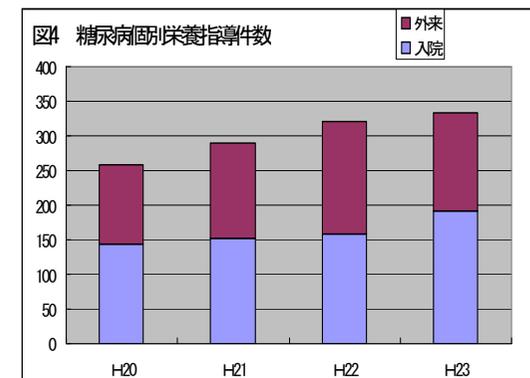
- チーム医療による食事療法、運動療法、薬物療法等を組み合わせた教育入院を行った。

【表16 糖尿病教育入院患者数(日本海総合病院)】

年度	H20	H21	H22	H23
延べ患者数	99	83	76	79

【表17 糖尿病の個別栄養指導件数(日本海総合病院)】 図4

年度		H20	H21	H22	H23
指導件数	入院	144	153	159	191
	外来	114	137	161	143
	合計	258	290	320	334



e) 回復期リハビリテーション

- 回復期リハビリテーション機能の集約化

e) 回復期リハビリテーション

- 酒田医療センターの病棟改修を行い、平成24年4月より開始を予定。

f) 在宅医療支援及び療養支援

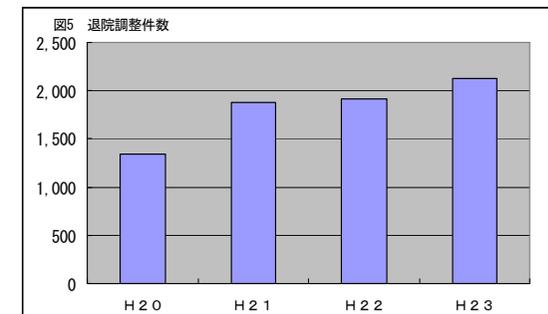
- 地域の介護機関・福祉機関・医療機関との連携を強化するための窓口・相談機能の充実
- かかりつけ医と連携した、急性増悪に対する入院受入や定期的に必要な検査、処置の実施など、在宅患者や介護・福祉機関の患者に対する医療支援

f) 在宅医療支援及び療養支援

- 在宅医療支援及び地域の介護・福祉・医療の各機関との連携を強化するため、日本海総合病院の地域医療室は8名、酒田医療センターは4名の人員体制にした。

【表18 地域医療室における退院調整数】 図5

	H20	H21	H22	H23
日本海総合病院	820	1,041	1,518	1,899
酒田医療センター	525	841	403	229



g) その他

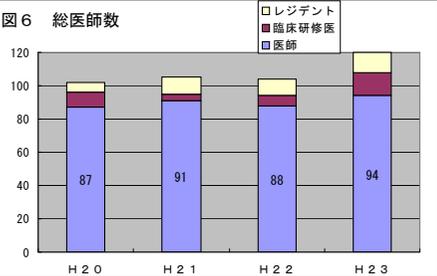
- 救急用ヘリポート、高速道路の活用などの救急アクセスの整備を関係先に働きかけていく

g) その他

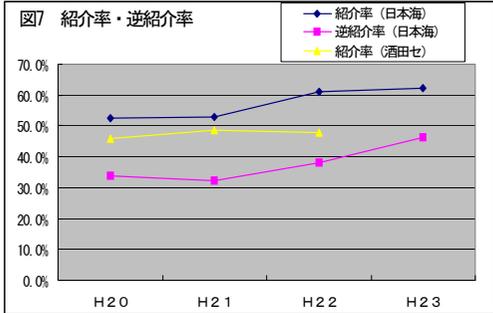
- 緊急用ヘリポートを増築棟(南棟)の屋上に設置した。
- 複数診療科を受診する患者の利便性を従来どおり確保するため、両病院間に患者移動用ワゴン車を1日10往復運行した。

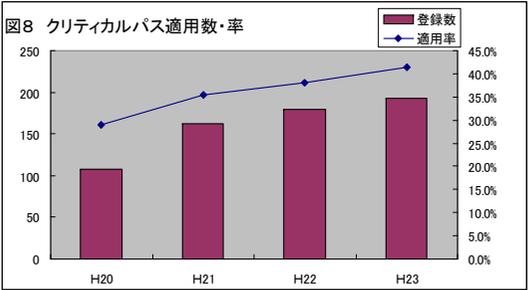
第1期中期目標	第1期中期計画	事業実績																																										
<p><b>②高度医療機器の計画的な更新・整備</b></p> <p>県・市病院機構に求められる高度専門医療等を提供できるよう、中期目標の期間における資金計画を策定し、計画的な医療機器の更新・整備を進めること。</p>	<p><b>②高度医療機器の計画的な更新・整備</b></p> <p>高度専門医療等の充実のため、中期計画期間中における医療機器の更新・整備計画を策定し、高度医療機器の計画的な更新・整備を行う。高度医療機器の更新・整備に当たっては、稼働率や収支の予測を十分に行った上で進めるとともに、中期計画期間中及び将来の収支計画に配慮した上で、必要に応じリース契約の活用も検討する。</p>	<p><b>【表19 ヘリポート稼働実績】</b></p> <p>①搬送 5件</p> <table border="1" data-bbox="898 229 2033 493"> <thead> <tr> <th>年 月</th> <th>概 要</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23.3</td> <td>幼 児 山形大学附属病院へ転院搬送</td> <td>もがみ</td> </tr> <tr> <td>H23.6</td> <td>幼 児 山形大学附属病院へ転院搬送</td> <td>もがみ</td> </tr> <tr> <td>H23.7</td> <td>幼 児 山形大学附属病院へ転院搬送</td> <td>もがみ</td> </tr> <tr> <td>H23.9</td> <td>30歳代 山形大学附属病院へ転院搬送</td> <td>もがみ</td> </tr> <tr> <td>H23.12</td> <td>30歳代 県立中央病院へ転院搬送</td> <td>なまはげ</td> </tr> </tbody> </table> <p>②受入 3件</p> <table border="1" data-bbox="898 536 2033 667"> <tbody> <tr> <td>H23.3</td> <td>60歳代 仙台国立医療センターから搬入</td> <td>大阪府ドクターヘリ</td> </tr> <tr> <td>H23.9</td> <td>50歳代 鳥海山から搬入</td> <td>がっさん</td> </tr> <tr> <td>H24.3</td> <td>80歳代 秋田県にかほ市自宅から搬入</td> <td>秋田県ドクターヘリ</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>②高度医療機器の計画的な更新・整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高度専門医療等の充実のため、高度医療機器の更新・整備を行った。</li> </ul> <p><b>【表20 主な高度医療機器の更新・整備一覧】1,000万円以上の機器</b></p> <table border="1" data-bbox="913 868 1626 1417"> <thead> <tr> <th></th> <th>新規・増設</th> <th>更新</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H20</td> <td>体外衝撃波結石破碎装置</td> <td>フルデジタルガンカメラ デジタルX線TV装置</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>外科用イメージングシステム 網膜硝子体手術装置 心臓超音波診断装置</td> <td>心臓超音波診断装置 レーザー治療システム 手術用顕微鏡</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>多目的デジタルX線TVシステム 循環器系X線診断装置 超伝導磁気共鳴診断装置 X線一般撮影装置 FPD搭載回診用X線撮影装置</td> <td>脳腹部血管造影撮影装置</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>経食道用超音波診断装置</td> <td>デジタルマンモグラフィシステム ガンカメラシステム</td> </tr> </tbody> </table> <p>※レンタル導入 H22 320列CT</p>	年 月	概 要	備 考	H23.3	幼 児 山形大学附属病院へ転院搬送	もがみ	H23.6	幼 児 山形大学附属病院へ転院搬送	もがみ	H23.7	幼 児 山形大学附属病院へ転院搬送	もがみ	H23.9	30歳代 山形大学附属病院へ転院搬送	もがみ	H23.12	30歳代 県立中央病院へ転院搬送	なまはげ	H23.3	60歳代 仙台国立医療センターから搬入	大阪府ドクターヘリ	H23.9	50歳代 鳥海山から搬入	がっさん	H24.3	80歳代 秋田県にかほ市自宅から搬入	秋田県ドクターヘリ		新規・増設	更新	H20	体外衝撃波結石破碎装置	フルデジタルガンカメラ デジタルX線TV装置	H21	外科用イメージングシステム 網膜硝子体手術装置 心臓超音波診断装置	心臓超音波診断装置 レーザー治療システム 手術用顕微鏡	H22	多目的デジタルX線TVシステム 循環器系X線診断装置 超伝導磁気共鳴診断装置 X線一般撮影装置 FPD搭載回診用X線撮影装置	脳腹部血管造影撮影装置	H23	経食道用超音波診断装置	デジタルマンモグラフィシステム ガンカメラシステム
年 月	概 要	備 考																																										
H23.3	幼 児 山形大学附属病院へ転院搬送	もがみ																																										
H23.6	幼 児 山形大学附属病院へ転院搬送	もがみ																																										
H23.7	幼 児 山形大学附属病院へ転院搬送	もがみ																																										
H23.9	30歳代 山形大学附属病院へ転院搬送	もがみ																																										
H23.12	30歳代 県立中央病院へ転院搬送	なまはげ																																										
H23.3	60歳代 仙台国立医療センターから搬入	大阪府ドクターヘリ																																										
H23.9	50歳代 鳥海山から搬入	がっさん																																										
H24.3	80歳代 秋田県にかほ市自宅から搬入	秋田県ドクターヘリ																																										
	新規・増設	更新																																										
H20	体外衝撃波結石破碎装置	フルデジタルガンカメラ デジタルX線TV装置																																										
H21	外科用イメージングシステム 網膜硝子体手術装置 心臓超音波診断装置	心臓超音波診断装置 レーザー治療システム 手術用顕微鏡																																										
H22	多目的デジタルX線TVシステム 循環器系X線診断装置 超伝導磁気共鳴診断装置 X線一般撮影装置 FPD搭載回診用X線撮影装置	脳腹部血管造影撮影装置																																										
H23	経食道用超音波診断装置	デジタルマンモグラフィシステム ガンカメラシステム																																										

第1期中期目標	第1期中期計画	事業実績																																																															
<p><b>③災害時における協力</b>            災害時には、災害拠点病院として患者を受け入れるとともに、県の指示に基づき、又は自ら必要と認めるときは、DMAT等、医療スタッフを現地に派遣して医療救護活動を実施すること。</p> <p><b>④政策医療の実施</b>            救急医療や災害医療のほか、高度専門医療や感染症医療等、政策医療の実施機関としての役割を果たすこと。</p>	<p><b>③災害時における協力</b>            災害時には、災害拠点病院として患者を受け入れるとともに、県の指示に基づき、又は自ら必要と認めるときは、DMAT（災害派遣医療チーム）等、医療スタッフを現地に派遣して医療救護活動を実施する。災害発生時に備え、地域の医療機関、医師会、自治体等が参加する災害医療訓練を年1回実施するとともに、地域の医療従事者を対象とした災害医療研修を実施する。</p> <p><b>④政策医療の実施</b>            ・ 日本海総合病院については、第二種感染症指定医療機関として、所要の責務を担うとともに、感染症患者の受け入れ体制を整備する。            ・ 老人性認知症センターを運営し、老人性認知症患者の専門医療相談、鑑別診断等について継続して実施していく。            ・ がん・脳卒中・糖尿病・小児医療・周産期医療などの高度専門医療についても、民間の医療機関では導入が困難な技術、先進的な技術を先駆けて導入するなど、地域の中核的医療機関としての役割を果たしていく。</p>	<p><b>③災害時における協力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成20年度は6月14日に発生した岩手・宮城内陸地震に7名のDMAT（災害派遣災害チーム）を派遣した。20年度の訓練は5回、延べ22名が参加。平成21年度は災害派遣はなく、訓練は6回、延べ30名が参加した。</li> </ul> <p>【表2-1 災害派遣一覧】</p> <table border="1" data-bbox="896 327 2027 694"> <thead> <tr> <th>派遣期間</th> <th>派遣形態</th> <th>派遣人数</th> <th>活動地域</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H20. 6. 14～15</td> <td>DMAT</td> <td>7</td> <td>宮城県栗駒市</td> <td>宮城・岩手内陸地震</td> </tr> <tr> <td>H23. 3. 11～14</td> <td>DMAT</td> <td>7</td> <td>宮城県仙台市・石巻市</td> <td>東日本大震災</td> </tr> <tr> <td>H23. 3. 24～26</td> <td>日赤救護班</td> <td>5</td> <td>福島県会津美里町</td> <td>東日本大震災</td> </tr> <tr> <td>H23. 4. 9～13</td> <td>県救護班</td> <td>6</td> <td>岩手県宮古市</td> <td>東日本大震災</td> </tr> <tr> <td>H23. 4. 23～25</td> <td>日赤救護班</td> <td>4</td> <td>福島県会津坂下町ほか</td> <td>東日本大震災</td> </tr> <tr> <td>H23. 5. 14～17</td> <td>県救護班</td> <td>6</td> <td>宮城県気仙沼市</td> <td>東日本大震災</td> </tr> <tr> <td>H23. 5. 23～25</td> <td>日赤救護班</td> <td>4</td> <td>福島県会津若松市ほか</td> <td>東日本大震災</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>④政策医療の実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型感染症対策として、増築棟(南棟)に特殊診察室を設置</li> <li>酒田医療センターで運営していた「老人性認知症センター」を、診療科の移行に伴い平成22年11月1日からは日本海総合病院にて運営した。また、平成23年4月1日からは新たに「認知症患者医療センター」として運営を行った。            ※平成23年度の相談件数は、新規専門相談件数が645件、継続相談件数が300件</li> <li>PET/CTの導入(H24.5月稼働予定)に向けたPETセンター棟の増築、MRI（3T）、320列CTなどの高額医療機器の整備を行った。</li> <li>先進医療の届出を行い、大腸がんに対する「内視鏡的大腸粘膜下層剥離術」を先駆けて導入し、患者の身体的負担の少ない専門的治療を行った。</li> <li>「がん」の早期発見・早期治療、生活習慣病対策および地域住民の健康維持のため、日本海総合病院で1泊2日人間ドックを行った。</li> <li>平成21年度から日本海総合病院で週2回の助産師外来を開設、また、平成23年度からは院内助産も実施した。</li> </ul> <p>【表2-2 人間ドック利用者数】</p> <table border="1" data-bbox="896 1204 1601 1380"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区分</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">日本海総合病院</td> <td>1泊2日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>半日</td> <td>330</td> <td>331</td> <td>182</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">酒田医療センター</td> <td>1泊2日</td> <td>234</td> <td>247</td> <td>116</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	派遣期間	派遣形態	派遣人数	活動地域	備考	H20. 6. 14～15	DMAT	7	宮城県栗駒市	宮城・岩手内陸地震	H23. 3. 11～14	DMAT	7	宮城県仙台市・石巻市	東日本大震災	H23. 3. 24～26	日赤救護班	5	福島県会津美里町	東日本大震災	H23. 4. 9～13	県救護班	6	岩手県宮古市	東日本大震災	H23. 4. 23～25	日赤救護班	4	福島県会津坂下町ほか	東日本大震災	H23. 5. 14～17	県救護班	6	宮城県気仙沼市	東日本大震災	H23. 5. 23～25	日赤救護班	4	福島県会津若松市ほか	東日本大震災	年度	区分	H20	H21	H22	H23	日本海総合病院	1泊2日				111	半日	330	331	182		酒田医療センター	1泊2日	234	247	116	
派遣期間	派遣形態	派遣人数	活動地域	備考																																																													
H20. 6. 14～15	DMAT	7	宮城県栗駒市	宮城・岩手内陸地震																																																													
H23. 3. 11～14	DMAT	7	宮城県仙台市・石巻市	東日本大震災																																																													
H23. 3. 24～26	日赤救護班	5	福島県会津美里町	東日本大震災																																																													
H23. 4. 9～13	県救護班	6	岩手県宮古市	東日本大震災																																																													
H23. 4. 23～25	日赤救護班	4	福島県会津坂下町ほか	東日本大震災																																																													
H23. 5. 14～17	県救護班	6	宮城県気仙沼市	東日本大震災																																																													
H23. 5. 23～25	日赤救護班	4	福島県会津若松市ほか	東日本大震災																																																													
年度	区分	H20	H21	H22	H23																																																												
日本海総合病院	1泊2日				111																																																												
	半日	330	331	182																																																													
酒田医療センター	1泊2日	234	247	116																																																													

第1期中期目標	第1期中期計画	事業実績																																																															
<p>(2) 優れたスタッフの確保</p> <p>① 優秀な医師の確保と医師の負担軽減</p> <p>高度専門医療等の水準を維持・向上させるため、優秀な医師の確保に努めるとともに、教育研修体制の充実を図りつつ、臨床研修医及びレジデント(専門分野の研修医をいう。)の受入に努めること。また、医療の質の向上を図るため、医師の負担軽減に努めること。</p>	<p>(2) 優れたスタッフの確保</p> <p>① 優秀な医師の確保と医師の負担軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高度専門医療等の水準を維持・向上させるため、大学等関係機関との連携の強化や教育研修の充実により、優秀な医師の育成、確保に努める。</li> <li>臨床研修医の受け入れについては、教育研修体制の充実を図るとともに、報酬等処遇の改善も行いつつ、臨床研修医及びレジデント(専門分野の研修医をいう。)の受入れ拡大に努める。</li> <li>医師の負担の軽減により、医師確保と定着化を促進するため、医師について多様な勤務形態の導入を検討するとともに、医師事務補助など医師を支援する職種の導入を進める。</li> </ul>	<p>【表2-3 院内助産所・助産師外来】</p> <table border="1" data-bbox="913 188 1525 320"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>助産師外来件数</td> <td></td> <td>493</td> <td>704</td> <td>641</td> </tr> <tr> <td>院内助産件数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 優れたスタッフの確保</p> <p>① 優秀な医師の確保と医師の負担軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山形大学や東北大学との連携により、医師、研修医の確保に努めた。</li> <li>医師数は平成20年度が87名であったが、平成23年度は94名となった。また、研修医数も増加した。</li> <li>研修医専用の医局を増築棟(南棟)に確保し、図書室と併せて整備した。</li> <li>研修医の確保のため各種ガイダンスに積極的に参加するとともに、募集用DVDを自主制作するなどの活動を行った。</li> <li>医師の負担の軽減のため、医師の事務補助として外来診療科と各病棟に医療クラークを配置した。</li> <li>山形大学医学部との連携により、医学生の卒前・卒後教育の一体化を図り、地域に根ざした医療人の育成を目的に広域連携医療実習を平成24年1月から実施した。平成23年度の実績は4名の医学生を受け入れた。</li> <li>女性医師が妊娠・出産しても安心して働ける職場環境づくりのため、短時間勤務制度の検討を行った。なお、H24以降も継続して検討することとしている。</li> </ul> <p>【表2-4 医師・臨床研修医・レジデントの人数】図6</p> <table border="1" data-bbox="913 815 1626 1078"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">日本海総合病院</td> <td>医師</td> <td>63</td> <td>69</td> <td>66</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>臨床研修医</td> <td>9</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>レジデント</td> <td>6</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">酒田医療センター</td> <td>医師</td> <td>24</td> <td>22</td> <td>22</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>臨床研修医</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>【表2-5 医療クラークの配置人数】</p> <table border="1" data-bbox="913 1145 1525 1278"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本海総合病院</td> <td>23</td> <td>22</td> <td>55</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>酒田医療センター</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>図6 総医師数</p> 	年度	H20	H21	H22	H23	助産師外来件数		493	704	641	院内助産件数				12			H20	H21	H22	H23	日本海総合病院	医師	63	69	66	90	臨床研修医	9	4	6	14	レジデント	6	10	10	12	酒田医療センター	医師	24	22	22	4	臨床研修医	0	1	2	0		H20	H21	H22	H23	日本海総合病院	23	22	55	60	酒田医療センター	10	10	10	
年度	H20	H21	H22	H23																																																													
助産師外来件数		493	704	641																																																													
院内助産件数				12																																																													
		H20	H21	H22	H23																																																												
日本海総合病院	医師	63	69	66	90																																																												
	臨床研修医	9	4	6	14																																																												
	レジデント	6	10	10	12																																																												
酒田医療センター	医師	24	22	22	4																																																												
	臨床研修医	0	1	2	0																																																												
	H20	H21	H22	H23																																																													
日本海総合病院	23	22	55	60																																																													
酒田医療センター	10	10	10																																																														

第1期中期目標	第1期中期計画	事業実績												
<p><b>②看護職及び医療技術職の専門性の向上</b></p> <p>看護師の専門性の向上を図るとともに、患者に接する機会が最も多い看護職の意見を病院運営に反映する仕組みづくりに努めること。薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師等の技術職について、研修等を充実し、専門性の向上を図ること。</p>	<p><b>②看護職及び医療技術職の専門性の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>看護職の専門性の向上を図るため、認定看護師・専門看護師の資格取得を促進する。</li> <li>患者の立場に立った看護及び質の高い療養環境を提供するため、患者及び家族に接する機会が最も多い看護職の意見を病院運営に反映する仕組みづくりに努める。</li> <li>薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師等の技術職について、研修等を充実し、専門技能の向上を図る。</li> <li>専門性の高い看護師や薬剤師、技師等が、がんや心疾患、糖尿病等に対するチーム医療の実施において、医師とともに中心的な役割を果たせるよう、必要に応じ体制整備を進める。</li> </ul>	<p><b>②看護職及び医療技術職の専門性の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>認定看護師の養成のため、研修経費については機構負担とした。</li> <li>看護補助者、病棟事務補助者を配置して看護師が本来業務に専念できる体制整備を図った。 ※日本海総合病院 81名 酒田医療センターで15名配置（平成24年3月31日現在）</li> <li>新規採用看護師には1年間のプリセプターを配置した。</li> <li>看護師教育は、新人看護師から段階を踏んで臨床看護実践能力を育成するクリニカルラダーシステム（臨床看護実践能力習熟段階制）を導入した。</li> </ul> <p>【表26 認定看護師数】</p> <table border="1" data-bbox="929 427 1234 687"> <tbody> <tr> <td>皮膚・排泄ケア</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>集中ケア</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>がん化学療法</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>看護管理者</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>救急看護</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療技術職員について職場内研修他、外部研修へも積極的に参加させ、専門技能の向上に努めた。</li> </ul>	皮膚・排泄ケア	3	緩和ケア	1	集中ケア	1	がん化学療法	1	看護管理者	1	救急看護	1
皮膚・排泄ケア	3													
緩和ケア	1													
集中ケア	1													
がん化学療法	1													
看護管理者	1													
救急看護	1													
<p><b>③事務職員の確保と専門性の向上</b></p> <p>プロパー職員の採用等による専門職化や研修の充実等による事務職員の資質向上を図ること。</p>	<p><b>③事務職員の確保と専門性の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>病院経営機能の強化を図るため、事務職員について、研修の充実等による専門的知識の習得を図るとともに、プロパー職員の採用等を段階的に進める。</li> </ul>	<p><b>③事務職員の確保と専門性の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年度に3名、平成23年度に3名の事務職員を新規採用(採用試験実施)した。</li> <li>平成23年度に県承継職員6名、市承継職員2名を採用した。</li> <li>事務職員としての能力向上を図るため、平成23年度より事務職員の研修を実施した。</li> </ul>												

第1期中期目標	第1期中期計画	事業実績																																																										
<p>(3) 医療サービスの効果的な提供</p> <p>①地域連携の推進</p> <p>庄内地域における中核的な医療機関としての役割を果たすとともに、他の医療機関との役割分担と連携を強化し、地域医療機関との紹介・逆紹介の推進や、地域連携クリティカルパスの活用など、医療サービスの効果的な提供に努めること。また、退院時における地域の介護・福祉機関との連携を強化し、医療から介護・福祉へと切れ目のないサービスの提供ができるように努めること。</p>	<p>(3) 医療サービスの効果的な提供</p> <p>①地域連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>庄内地域における中核的な医療機関としての役割を果たすとともに、他の医療機関との役割分担と連携を強化し、地域医療機関との紹介率・逆紹介率の向上や、地域連携クリティカルパスの整備普及等に取り組む。</li> <li>地域包括支援センターや地域の介護・福祉機関との連携を強化し、介護・福祉機関への患者情報の積極的な提供や、退院時カンファレンスの取組みの強化等により、医療から介護・福祉へと切れ目のないサービス提供ができるように努める。</li> </ul>	<p>(3) 医療サービスの効果的な提供</p> <p>①地域連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域医療室では地域包括支援センターや地域の介護・福祉機関との連携を強化し、介護・福祉機関への患者情報の積極的な提供や、退院時カンファレンスの取組みの強化等により、医療から介護・福祉へと切れ目のないサービス提供ができるように努めた。</li> <li>大腿骨頸部骨折地域連携パス、がん対策基本法に定める「5大がん」の地域連携クリティカルパスを作成した。</li> <li>酒田地区医療情報ネットワーク事業（「ちょうかいネット」H23.4.1開始）により、日本海総合病院の電子カルテ情報（診療録、処方、注射、検査、画像、サマリーなど）を、インターネットを利用して地域内の医療・介護・福祉施設に情報提供するシステムを導入した。このシステムを活用して地域の関係施設との医療情報（画像、レポート、地域連携クリティカルパスなど）の共有化を推進した。連携医療・福祉施設59、登録患者数2,386人（H24.3.31現在）</li> <li>地域医療連携体制を推進した結果、紹介率・逆紹介率ともに上昇したため、平成24年度に地域医療支援病院の指定を予定している。</li> </ul> <p>【表27 紹介率・逆紹介率】図7</p> <table border="1" data-bbox="931 643 1897 790"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">日本海総合病院</td> <td>紹介率</td> <td>52.5%</td> <td>52.7%</td> <td>60.9%</td> <td>62.3%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>34.0%</td> <td>32.3%</td> <td>38.3%</td> <td>46.3%</td> </tr> <tr> <td>酒田医療センター</td> <td>紹介率</td> <td>46.0%</td> <td>48.5%</td> <td>48.0%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※紹介率(%) = (紹介患者の数 + 救急入院患者の数) / 初診患者の数 × 100  ※逆紹介率(%) = 逆紹介患者の数 / 初診患者の数 × 100</p> <p>【表28 地域連携クリティカルパス適用件数】</p> <table border="1" data-bbox="927 940 1538 1246"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大腿骨頸部骨折</td> <td></td> <td>61</td> <td>82</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>肺がん</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>大腸がん</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>肝がん</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>乳がん</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>胃がん</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table> <p>図7 紹介率・逆紹介率</p> 			H20	H21	H22	H23	日本海総合病院	紹介率	52.5%	52.7%	60.9%	62.3%	逆紹介率	34.0%	32.3%	38.3%	46.3%	酒田医療センター	紹介率	46.0%	48.5%	48.0%			H20	H21	H22	H23	大腿骨頸部骨折		61	82	111	肺がん				4	大腸がん				16	肝がん				0	乳がん				7	胃がん				14
		H20	H21	H22	H23																																																							
日本海総合病院	紹介率	52.5%	52.7%	60.9%	62.3%																																																							
	逆紹介率	34.0%	32.3%	38.3%	46.3%																																																							
酒田医療センター	紹介率	46.0%	48.5%	48.0%																																																								
	H20	H21	H22	H23																																																								
大腿骨頸部骨折		61	82	111																																																								
肺がん				4																																																								
大腸がん				16																																																								
肝がん				0																																																								
乳がん				7																																																								
胃がん				14																																																								

第1期中期目標	第1期中期計画	事業実績																																																																																			
<p><b>②クリティカルパスの活用</b></p> <p>より短い期間で効果的な医療を提供し、患者負担の軽減にも寄与できるよう、クリティカルパスの作成及び適用を進め、質の高い医療を提供すること。</p>	<p><b>②クリティカルパスの活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>効果的な医療を提供し、患者負担の軽減にも寄与するため、クリティカルパスの作成及び適用を進める。</li> </ul>	<p><b>②クリティカルパスの活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>効果的な医療を提供し、患者負担の軽減にも寄与するため、電子カルテをベースとしたクリティカルパスの作成に向けて作業を継続した</li> </ul> <p>【表29 クリティカルパス適用数等】図8</p> <table border="1" data-bbox="929 323 1538 541"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録数</td> <td>108</td> <td>162</td> <td>179</td> <td>193</td> </tr> <tr> <td>(新規作成)</td> <td>(54)</td> <td>(56)</td> <td>(45)</td> <td>(33)</td> </tr> <tr> <td>適用件数</td> <td>3,447</td> <td>4,005</td> <td>5,631</td> <td>6,620</td> </tr> <tr> <td>適用率</td> <td>28.9%</td> <td>35.5%</td> <td>38.0%</td> <td>41.3%</td> </tr> </tbody> </table>  <p>【表30 インシデント報告数】</p> <table border="1" data-bbox="936 764 1635 1227"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">報告件数合計</td> <td>1,435</td> <td>1,510</td> <td>1,503</td> <td>1,290</td> </tr> <tr> <td rowspan="9">部署別 内訳</td> <td>看護部</td> <td>1,361</td> <td>1,410</td> <td>1,383</td> <td>1,130</td> </tr> <tr> <td>診療部</td> <td>18</td> <td>12</td> <td>30</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>薬剤部</td> <td>16</td> <td>44</td> <td>28</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>検査部</td> <td>13</td> <td>9</td> <td>21</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>リハビリ室</td> <td>18</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>放射線部</td> <td>6</td> <td>10</td> <td>7</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>栄養管理室</td> <td>2</td> <td>8</td> <td>12</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>ME室</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>委託業者</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>③ 医療安全対策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療安全対策室に専従看護師1名を配置して、インシデントレポートの収集、分析を行うとともに、院内研修や定期的な院内広報を行った。</li> </ul>		H20	H21	H22	H23	登録数	108	162	179	193	(新規作成)	(54)	(56)	(45)	(33)	適用件数	3,447	4,005	5,631	6,620	適用率	28.9%	35.5%	38.0%	41.3%			H20	H21	H22	H23	報告件数合計		1,435	1,510	1,503	1,290	部署別 内訳	看護部	1,361	1,410	1,383	1,130	診療部	18	12	30	37	薬剤部	16	44	28	35	検査部	13	9	21	30	リハビリ室	18	10	12	29	放射線部	6	10	7	13	栄養管理室	2	8	12	3	ME室	0	0	2	2	委託業者	1	7	8	11
	H20	H21	H22	H23																																																																																	
登録数	108	162	179	193																																																																																	
(新規作成)	(54)	(56)	(45)	(33)																																																																																	
適用件数	3,447	4,005	5,631	6,620																																																																																	
適用率	28.9%	35.5%	38.0%	41.3%																																																																																	
		H20	H21	H22	H23																																																																																
報告件数合計		1,435	1,510	1,503	1,290																																																																																
部署別 内訳	看護部	1,361	1,410	1,383	1,130																																																																																
	診療部	18	12	30	37																																																																																
	薬剤部	16	44	28	35																																																																																
	検査部	13	9	21	30																																																																																
	リハビリ室	18	10	12	29																																																																																
	放射線部	6	10	7	13																																																																																
	栄養管理室	2	8	12	3																																																																																
	ME室	0	0	2	2																																																																																
	委託業者	1	7	8	11																																																																																

第1期中期目標	第1期中期計画	事業実績
<p><b>(4) 教育研修事業の充実</b></p> <p>①庄内地域における医療水準の向上</p> <p>山形大学、東北大学、県立保健医療大学、県立病院などと連携し、地域の中核的な医療機関として、質の高い医療従事者を育成し、庄内地域における医療水準の向上に努めること。</p> <p>②住民の意識の啓発</p> <p>地域住民を対象としたセミナー、広報などを積極的に行い、住民の医療や健康に対する意識の啓発に努めること。</p>	<p><b>(4) 教育研修事業の充実</b></p> <p>①庄内地域における医療水準の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の中核的な医療機関として、山形大学、東北大学、県立保健医療大学、県立病院などとの人材交流や研修を通して質の高い医療従事者の育成を推進し、庄内地域における医療水準の向上を進める。</li> </ul> <p>②住民の意識の啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域住民を対象としたセミナー、広報などを積極的に行い、住民の医療や健康に対する意識の啓発に努める。</li> <li>・ 「総合病院最前線」という番組を持ち、毎週2回に医師持ち回りによる医療情報提供を行った</li> </ul>	<p><b>(4) 教育研修事業の充実</b></p> <p>①庄内地域における医療水準の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成23年度に、山形大学医学部先端分子疫学研究所の分室を日本海総合病院内に置き、「グローバルCOEネットワーク事業」（文部科学省）による地域の疫学研究活動に協力した。</li> <li>・ 鶴岡市立荘内病院との連携強化を図るために、相互に医療講演会を実施した。</li> </ul> <p>②住民の意識の啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 患者、地域住民向けの広報誌「あきほ」を年間4回発行して、病院機構の様々な情報提供に努めた。</li> <li>・ 病院機構、日本海総合病院、酒田医療センターそれぞれのホームページを開設して、最新の情報提供に努めた。</li> <li>・ 平成20年10月～平成23年3月まで、地元FM局と提携して「総合病院最前線」という番組を持ち、毎週2回に医師持ち回りによる医療情報提供を行ったがん診療連携拠点病院として、毎年度2回の講演会を開催した。</li> </ul>

第1期中期目標	第1期中期計画	事業実績										
<p><b>3 患者・住民サービスの一層の向上</b></p> <p>来院から診療、会計に至る全てのサービスについて、待ち時間の短縮等、患者の利便性の向上に努めること。</p> <p>また、サービスの向上に当たっては、患者・住民の意見を取り入れる仕組みづくりや、住民に病院の機能や実績を理解してもらうための取組みを積極的に行うこと。</p>	<p><b>3 患者・住民サービスの一層の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外来、検査、手術、会計等、待ち時間の実態及び患者ニーズを継続的に調査し、外来診療システムの改善及び診療時間の弾力化に取り組む。</li> <li>・ 地域住民に対するセミナーに併せて院内見学や意見交換の場を設けることにより、患者・住民の目線に立ったサービスの向上の取組を進める。</li> </ul>	<p><b>3 患者・住民サービスの一層の向上</b></p> <p>《施設関連 日本海総合病院》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① エントランスホール、ホスピタルストリートなど <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 増築棟(南棟)に自動受付機を配置し、患者の動線の短縮を図った。</li> <li>・ 患者案内担当職員を配置し、病院ボランティアとともに患者誘導に配慮した。</li> <li>・ 会計時間の短縮のため自動入金機増設し、混雑時の会計待ち時間解消を図った。</li> <li>・ 傘ふく、酒田祭鉾だてなどの地元の伝統行事関連の展示を行った。</li> <li>・ 診療科案内板や院内表示を患者が見分けやすい電子ボードにした。</li> <li>・ 日本海文庫コーナーを設け、患者向けの図書の閲覧・貸出を行った。</li> <li>・ ホスピタルロードにボランティアの協力による絵画の常時展示を行った。</li> <li>・ 平成20年にコーヒESHOP(ベーカリー)を開始した(賃貸)。</li> <li>・ 平成21年4月に、コンビニエンスストアを開始した(賃貸)。</li> <li>・ 理容所に加え、平成22年度から美容所も開始した(賃貸)。</li> </ul> </li> <li>② 病棟 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7対1看護体制をとることにより看護師1人の受け持ち患者が少なくなったことから、きめ細やかな患者サービスを行うことができた。</li> <li>・ 全病床の床頭台で患者の検査結果が表示できるようにし、ベッドサイドでの患者指導が行える環境にした。</li> <li>・ 床頭台をインターネット対応にした。</li> <li>・ 傾聴ボランティアの活動を行った。</li> </ul> </li> <li>③ 関連施設 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成20年10月から空床を利用して重症心身障がい児(者)短期入所事業(家庭の事情により介護できない場合の一時的利用)を実施した。</li> <li>・ 地域の子育て支援と児童の健康、安心の向上を図るため、院内保育所を増築し平成23年11月から病児・病後児育業務を酒田市からの受託業務として実施した。 ※H23年度は94名の利用があった。</li> <li>・ 患者用駐車場を拡張し駐車場の混雑解消に努めた。 ※患者用120台分を拡張</li> </ul> </li> <li>④ 広報・公聴 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「患者の声」の院内掲示や病院ボランティアとの意見交換会などにより、患者・住民の目線に立ったサービスの向上に取り組んだ。</li> <li>・ 病院機構、日本海総合病院、酒田医療センターのHPをそれぞれ開設し、最新情報の提供に努めた。</li> <li>・ 病院機構広報誌「あきほ」並びに酒田市広報を通じて、施設の増築・改修工事のお知らせ、職員採用情報など情報提供に努めた。</li> </ul> </li> <li>⑤ その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入院患者を対象にクリスマスコンサート、新春演奏会などのイベントを院内サークル、地元ボランティアの協力を得て実施した。</li> </ul> </li> </ol> <p>【表3-1 重症心身障がい児(者)短期入所利用状況】</p> <table border="1" data-bbox="913 1385 1420 1474"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>20</td> <td>26</td> <td>36</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H20	H21	H22	H23	利用者数	20	26	36	30
年度	H20	H21	H22	H23								
利用者数	20	26	36	30								

第1期中期目標	第1期中期計画	事業実績																																																																										
<p><b>4 統合再編に関する住民への広報</b></p> <p>統合再編に伴い住民が不安にならないように、移行期における診療体制等について、地元自治体の広報を含め、多様な広報媒体を活用して積極的に情報提供すること。</p> <p><b>5 法令等の遵守と情報公開の推進</b></p> <p>法令を遵守するとともに、高い倫理観をもち、患者が安心して医療を受けられるよう配慮すること。</p> <p>また、インフォームド・コンセントの一層の充実や、カルテ・レセプト等医療情報の適切な情報開示・情報発信を進め、患者及び住民の信頼向上に努めること。</p>	<p><b>4 統合再編に関する住民への広報</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>移行期及び施設整備完成までの診療体制等については、住民及び患者に丁寧に説明していくとともに、地元自治体の広報を含め、多様な広報媒体を活用して積極的に情報提供していく。</li> <li>医師会・薬剤師会など地域の医療関係者に対する情報提供を行うなど、多方面からの住民への広報を進めていく。</li> </ul> <p><b>5 法令等の遵守と情報公開の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>法令等に基づき、医療従事者としての行動規範、倫理等について規則化し、所要の研修を行う。</li> <li>インフォームド・コンセントを徹底するほか、カルテ・レセプト等医療情報の情報開示については、山形県情報公開条例及び個人情報保護条例の適用のもとに、県の機関に準じて適切に対応する。</li> </ul>	<p><b>4 統合再編に関する住民への広報</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>出前講座等で、再編統合の経緯や経営状況、施設整備の状況を説明した。</li> <li>増築棟（南棟）の一般住民への内覧会を実施した（H22）。</li> </ul> <p>【表3-2 出前講座の実績】</p> <table border="1" data-bbox="913 323 1420 411"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>10</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>5 法令等の遵守と情報公開の推進</b></p> <p>【表3-3 カルテの開示件数】</p> <table border="1" data-bbox="913 663 1523 796"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本海総合病院</td> <td>21</td> <td>27</td> <td>28</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>酒田医療センター</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>6 その他</b></p> <p><b>①患者からの要望及び公開</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外来、病棟、エントランスホールに患者からの要望、苦情を受け入れる投書箱を準備し、投書があった内容については院内に掲示して公表するとともに、投書内容については速やかに対応した。</li> </ul> <p>【表3-4 患者の声 投書集計】</p> <table border="1" data-bbox="936 1015 1648 1401"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">「患者の声」件数合計</td> <td>240</td> <td>183</td> <td>208</td> <td>263</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">内容別A</td> <td>感謝</td> <td>58</td> <td>41</td> <td>31</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>要望</td> <td>74</td> <td>52</td> <td>67</td> <td>84</td> </tr> <tr> <td>苦情</td> <td>108</td> <td>90</td> <td>110</td> <td>109</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">内容別B</td> <td>職員対応など</td> <td>99</td> <td>83</td> <td>105</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>サービス提供など</td> <td>86</td> <td>81</td> <td>94</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>その他、待ち時間など</td> <td>55</td> <td>19</td> <td>9</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>②医療訴訟</b></p> <p>平成22年度に酒田医療センターのステロイド剤投与に関して提訴があったが、平成23年度に機構の勝訴が確定した。</p>	年度	H20	H21	H22	H23	回数	10	4	7	3		H20	H21	H22	H23	日本海総合病院	21	27	28	32	酒田医療センター	3	2	4	4			H20	H21	H22	H23	「患者の声」件数合計		240	183	208	263	内容別A	感謝	58	41	31	69	要望	74	52	67	84	苦情	108	90	110	109	その他	0	0	0	1	内容別B	職員対応など	99	83	105	130	サービス提供など	86	81	94	111	その他、待ち時間など	55	19	9	22
年度	H20	H21	H22	H23																																																																								
回数	10	4	7	3																																																																								
	H20	H21	H22	H23																																																																								
日本海総合病院	21	27	28	32																																																																								
酒田医療センター	3	2	4	4																																																																								
		H20	H21	H22	H23																																																																							
「患者の声」件数合計		240	183	208	263																																																																							
内容別A	感謝	58	41	31	69																																																																							
	要望	74	52	67	84																																																																							
	苦情	108	90	110	109																																																																							
	その他	0	0	0	1																																																																							
内容別B	職員対応など	99	83	105	130																																																																							
	サービス提供など	86	81	94	111																																																																							
	その他、待ち時間など	55	19	9	22																																																																							

第1期中期目標	第1期中期計画	事業実績
<p><b>第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項</b></p> <p><b>1 弾力的な運営体制の確立</b>  中期目標、中期計画及び年度計画に掲げる目標を達成するための制度、手法を導入し、効率的・効果的な業務運営体制を確立すること。</p> <p><b>2 診療体制、人員配置の弾力的運用</b>  医療需要の変化に迅速に対応し、医療従事者等の配置を弾力的に行うこと。  また、必要に応じ常勤以外の雇用形態を取り入れることなどにより多様な専門職の活用を図り、効率的な業務運営に努めること。</p>	<p><b>第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためのべき措置</b></p> <p><b>1 弾力的な運営体制の確立</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中期目標、中期計画及び年度計画に掲げる目標を達成するためのPDCAサイクル(注)を導入し、効率的・効果的な業務運営体制を確立する。</li> <li>予算執行については、科目間で弾力的な運用ができる会計制度とし、効率的・効果的な執行を行う。</li> </ul> <p><b>2 診療体制、人員配置の弾力的運用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療需要の変化に迅速に対応するため、運営する2病院間の人事交流を含め、医療従事者等の弾力的な配置を行う。</li> <li>高度な医療を効率的に提供するためには、多様な専門職を活用することが必要となることから、職種の特長に基づき、多様な雇用形態を検討し、取り入れていく。</li> </ul>	<p><b>第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためのべき措置</b></p> <p><b>1 弾力的な運営体制の確立</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中期目標、中期計画に基づく年度計画について、毎年、年度実績報告を設立団体に報告し、評価委員会の評価を得て、業務運営体制に反映させた。</li> <li>予算、規程改正、事業計画などの重要案件については理事会の議決により決定した。理事会は毎年度4～6回開催しており、議決案件の他重要事項についての決定・報告等について案件がある場合は随時開催としたため、短期間で法人の意思決定を行うことができた。</li> <li>平成20年に業務改善委員会を設置して日本海総合病院の業務改善を図った。病院の全部門の代表が一堂に会して、病院業務における各部門間の調整を直接行うことにより、よりスピーディな業務調整と事業実施が行うことができた。平成20～23年度までに175項目の案件を処理した。</li> </ul> <p><b>2 診療体制、人員配置の弾力的運用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本海総合病院と酒田医療センターでの看護師、医療技術職員の人事異動により両病院での適切な人事配置を行った</li> <li>県及び市の派遣職員の派遣元への復帰や退職者の補充に対応するため、7月、10月の中途採用を行った</li> <li>診療情報管理士、医療クラークなど専門知識を必要とする事務系職員の臨時採用を行った</li> <li>酒田市立看護専門学校における看護教育業務を病院機構が受託したため、看護教育部を組織化して看護職員を看護学校に常駐させた。また、看護教員を希望する看護師の教職免許取得のための支援を行った。</li> </ul>

第1期中期目標

第1期中期計画

事業実績

3 収益の増

県・市病院機構が有する様々な医療資源を医業収益の増に結びつけるため、その有効活用の方策を検討するとともに、病床利用率や医療機器の稼働率等については、中期計画において目標値を定めその達成を図ること。

3 収益の増

(1) 病床利用率

・ 病床利用率については、目標値を設定し、効果的な病床管理を徹底する。

	H20~ H22	H23
日本海総合病院	90% 以上	91% 以上
酒田医療センター	85% 以上	95% 以上

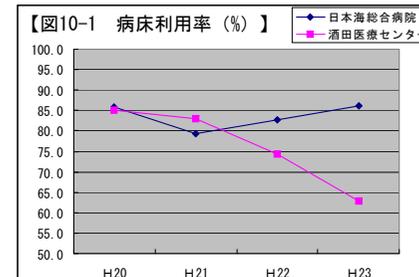
3 収益の増

(1) 病床利用率

・ 病床利用率は目標数値を下回った。これは、両病院の診療科の移行を円滑に行うための調整及び7対1看護体制を確保するために病床管理したこと等による。収益的な面では、7対1看護体制の確保、DPC導入効果及び平均在院日数短縮により入院診療単価が大幅に上昇したことから、収益増の結果に繋がった。

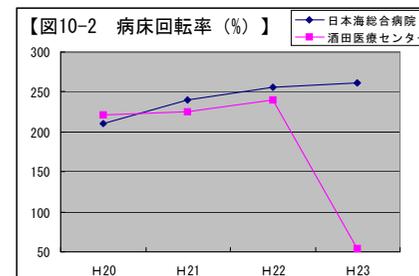
【表35 病床利用率 (%)】 図10-1

	H20	H21	H22	H23
日本海総合病院	85.9	79.3	82.8	86.0
酒田医療センター	85.0	83.1	74.3	62.7



【表36 病床回転率 (%)】 図10-2

	H20	H21	H22	H23
日本海総合病院	209.8	239.5	255.6	260.6
酒田医療センター	220.7	224.7	240.1	53.4



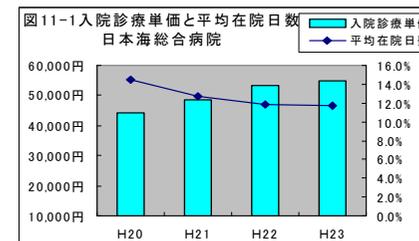
病床回転率 = 平均在院日数 / 実診療日数 × 100

【表37 延べ入院患者数】

	H20	H21	H22	H23
日本海総合病院	164,679	151,892	173,641	203,310
酒田医療センター	71,992	71,992	40,817	24,787

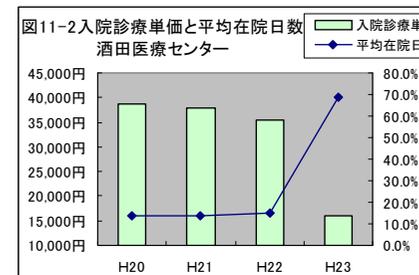
【表38 平均在院日数 (日)】 図11

	H20	H21	H22	H23
日本海総合病院	14.5	12.7	11.9	11.7
酒田医療センター	13.8	13.5	15.2	68.5



【表39 入院診療単価 (円)】 図11

	H20	H21	H22	H23
日本海総合病院	44,416	48,660	53,385	55,052
酒田医療センター	38,644	37,922	35,349	16,081

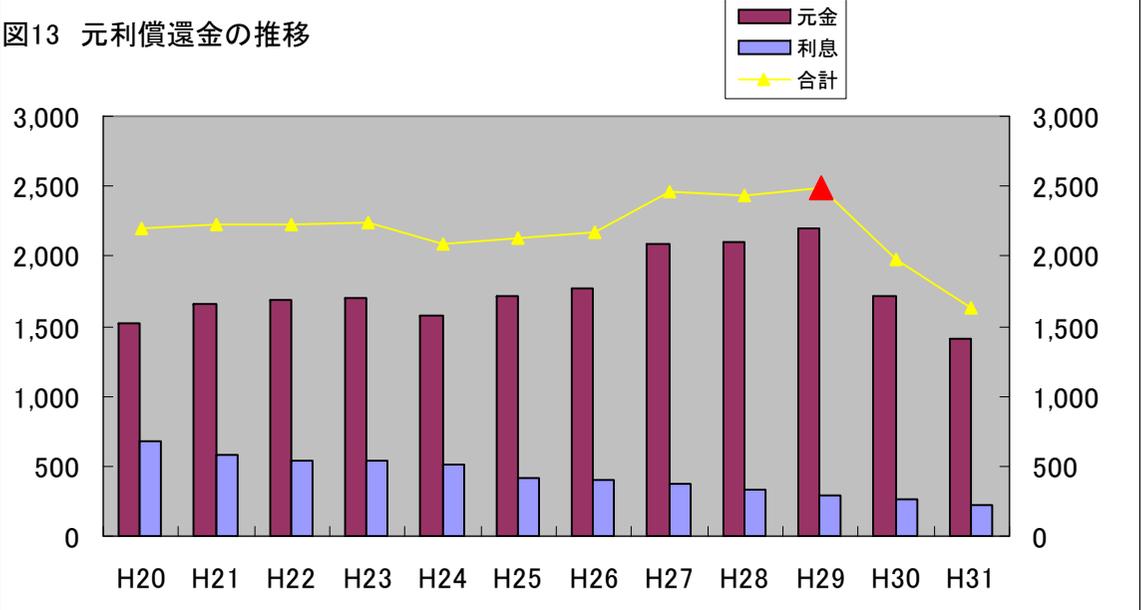


第1期中期目標	第1期中期計画	事業実績																																																									
<p><b>4 費用の節減</b> 人件費、材料費、経費について、中期計画において医業収益比率などの具体的な目標値を定め、その節減に努めること。 特に人件費については、全国自治体病院の黒字病院の人件費率を参考に目標を定めること。</p>	<p><b>(2) 医療機器の稼働率</b> ・ MRI やCTなどの医療機器の稼働率については、平成18年度の水準以上の稼働率となることを目指す。また、地域連携の視点だけでなく、医療機器の有効活用の視点からも、一部の医療機器については、開業医等からの受託検診等を推進する。</p> <p><b>4 費用の節減</b> ・ 人件費、材料費、経費については、その節減に努め、中期計画期間の最終年度においては、人件費等の対医業収益比率が、平成18年度における全国の500床以上の自治体黒字病院の平均値を上回らないことを目標とする。</p>	<p><b>(2) 医療機器の稼働率</b> ・ 専門的医療やCT・MRI検査の24時間対応した。</p> <p>【表4-0 医療機器の稼働件数】</p> <table border="1" data-bbox="927 293 1843 512"> <thead> <tr> <th></th> <th>機器</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>参考：H18</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">日本海総合病院</td> <td>CT</td> <td>17,353</td> <td>17,261</td> <td>21,358</td> <td>25,512</td> <td>14,272</td> </tr> <tr> <td>MRI</td> <td>4,969</td> <td>4,644</td> <td>5,997</td> <td>8,351</td> <td>4,463</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">酒田医療センター</td> <td>CT</td> <td>9,023</td> <td>9,052</td> <td>4,368</td> <td></td> <td>13,978</td> </tr> <tr> <td>MRI</td> <td>3,731</td> <td>3,886</td> <td>2,188</td> <td></td> <td>3,977</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>4 費用の節減</b> ・ 統合再編の初年度（平成20年度）から目標値については、全て達成した。</p> <p>【表4-1 経営指標】各種指標（単位：%）図12</p> <table border="1" data-bbox="943 647 1975 791"> <thead> <tr> <th>項目名</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>参考値※</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人件費率</td> <td>51.8</td> <td>51.7</td> <td>50.8</td> <td>50.5(45.4)</td> <td>52.3</td> </tr> <tr> <td>材料費率</td> <td>24.3</td> <td>24.8</td> <td>24.8</td> <td>23.4</td> <td>28.4</td> </tr> <tr> <td>経費率</td> <td>15.7</td> <td>15.0</td> <td>15.6</td> <td>15.6</td> <td>17.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※500床以上の全国自治体黒字病院の対医業収益比率（平成18年度）  ※人件費率=給与費/営業収益、材料比率=材料費/営業収益、経費比率=経費/営業収益  ※H23の（ ）内の値については、H20～H22までは退職給付引当金を人件費に計上したが、H23決算では営業費用に新たに「引当金繰入」の支出区分を設定して引当金を計上したためによる。これは、H23年度決算の外部監査法人からの指導によるものである。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="864 1034 1256 1291"> <p>【図12-1 人件費率】</p> </div> <div data-bbox="1305 1027 1682 1294"> <p>【図12-2 材料費率】</p> </div> <div data-bbox="1742 1027 2107 1294"> <p>【図12-3 経費率】</p> </div> </div>		機器	H20	H21	H22	H23	参考：H18	日本海総合病院	CT	17,353	17,261	21,358	25,512	14,272	MRI	4,969	4,644	5,997	8,351	4,463	酒田医療センター	CT	9,023	9,052	4,368		13,978	MRI	3,731	3,886	2,188		3,977	項目名	H20	H21	H22	H23	参考値※	人件費率	51.8	51.7	50.8	50.5(45.4)	52.3	材料費率	24.3	24.8	24.8	23.4	28.4	経費率	15.7	15.0	15.6	15.6	17.3
	機器	H20	H21	H22	H23	参考：H18																																																					
日本海総合病院	CT	17,353	17,261	21,358	25,512	14,272																																																					
	MRI	4,969	4,644	5,997	8,351	4,463																																																					
酒田医療センター	CT	9,023	9,052	4,368		13,978																																																					
	MRI	3,731	3,886	2,188		3,977																																																					
項目名	H20	H21	H22	H23	参考値※																																																						
人件費率	51.8	51.7	50.8	50.5(45.4)	52.3																																																						
材料費率	24.3	24.8	24.8	23.4	28.4																																																						
経費率	15.7	15.0	15.6	15.6	17.3																																																						

第1期中期目標	第1期中期計画	事業実績																												
<p><b>第4 財務内容の改善に関する事項</b></p> <p><b>1 経常収支比率の均衡</b> 「第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項」で定めた事項に配慮した中期計画及び年次計画を作成し、これに基づき病院を運営することにより、中期目標期間内に経常収支比率 100%以上を達成すること。</p> <p><b>2 資金収支の均衡</b> 経営基盤を強化し、安定した経営を続けるため、目標期間内の各年度において資金収支の均衡を達成すること。</p>	<p><b>第3 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画</b> 「第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置」を着実に実行することにより、中期計画期間内に経常収支比率 100%以上を達成する。</p> <p><b>第4 短期借入金の限度額</b> <b>1 限度額</b> 4,000百万円 <b>2 想定される短期借入金の発生理由</b> 賞与の支給等による一時的な資金不足への対応</p> <p><b>第5 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画</b> なし</p> <p><b>第6 剰余金の使途</b> 決算において剰余を生じた場合は、病院施設の整備、医療機器の購入等に充てる。</p> <p><b>第7 料金に関する事項</b> <b>1 使用料及び手数料</b>  (略)</p>	<p><b>第3 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画</b> ・中期目標期間（中期計画期間）の初年度から経常収支 100%以上を達成した。 ・営業収支が黒字を計上。 【表42 経常収支比率】 (単位：%)</p> <table border="1" data-bbox="884 323 1559 395"> <thead> <tr> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100.8</td> <td>101.8</td> <td>101.4</td> <td>102.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>【表43 営業収支】 単位：百万円</p> <table border="1" data-bbox="884 510 1496 684"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本海総合病院</td> <td>▲ 124</td> <td>71</td> <td>238</td> <td>583</td> </tr> <tr> <td>酒田医療センター</td> <td>0</td> <td>▲ 51</td> <td>▲ 230</td> <td>▲ 565</td> </tr> <tr> <td>法人計</td> <td>▲ 124</td> <td>20</td> <td>8</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>第4 短期借入金の限度額</b> ・実績なし</p> <p><b>第5 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画</b> ・実績なし</p> <p><b>第6 剰余金の使途</b> ・毎年度の決算剰余金については、建設改良積立金に充当して将来の施設整備及び医療機器の整備に備えた。</p> <p><b>第7 料金に関する事項</b> <b>1 使用料及び手数料</b></p>	H20	H21	H22	H23	100.8	101.8	101.4	102.4		H20	H21	H22	H23	日本海総合病院	▲ 124	71	238	583	酒田医療センター	0	▲ 51	▲ 230	▲ 565	法人計	▲ 124	20	8	18
H20	H21	H22	H23																											
100.8	101.8	101.4	102.4																											
	H20	H21	H22	H23																										
日本海総合病院	▲ 124	71	238	583																										
酒田医療センター	0	▲ 51	▲ 230	▲ 565																										
法人計	▲ 124	20	8	18																										

第1期中期目標	第1期中期計画	事業実績																																																																																										
<p data-bbox="96 292 465 359"><b>第5 その他業務運営に関する重要事項</b></p> <p data-bbox="96 368 336 395"><b>1 人事に関する事項</b></p> <p data-bbox="96 403 465 635">地域住民の医療ニーズの変化に応え、高度な専門知識と技術に支えられた良質で安全な医療を提供するため、また、経営等専門的ノウハウを法人に蓄積するため、医師等の医療従事者や専門家など優れた人材を適切に配置すること。</p> <p data-bbox="96 643 465 802">必要な人材の育成や能力開発を図るため、職員の業務を適切に評価し、かつ、透明性・公平性を確保することのできるシステムを確立していくこと。</p> <p data-bbox="96 810 465 943">さらに、こうした評価を反映したインセンティブを提供することなどにより、職員のモチベーションの向上を図ること。</p>	<p data-bbox="472 161 779 188"><b>2 使用料及び手数料の減免</b></p> <p data-bbox="629 228 674 255">(略)</p> <p data-bbox="472 292 824 359"><b>第8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項</b></p> <p data-bbox="472 368 712 395"><b>1 人事に関する事項</b></p> <ul data-bbox="472 403 824 1182" style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の中核となる医療機関として、地域住民の医療ニーズの変化に応え、高度な専門知識と技術に支えられた良質で安全な医療を提供するため、医師等の医療従事者や専門家など必要とされる優れた人材を採用していくとともに、適材適所の人事に努めていく。</li> <li>・ 医療面はもとより経営面においても、専門的ノウハウを法人に蓄積するため、継続性のある人事に努めていく。</li> <li>・ 人材の育成や能力開発を行うための研修を実施するとともに、職員の業務を適切に評価し、かつ、透明性・公平性を確保することのできる人事システムを確立する。</li> <li>・ 人事評価システムを反映したインセンティブを提供することなどにより、職員のモチベーションの向上を図る。</li> </ul>	<p data-bbox="831 161 1137 188"><b>2 使用料及び手数料の減免</b></p> <p data-bbox="831 292 1451 319"><b>第8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項</b></p> <p data-bbox="831 331 1070 359"><b>1 人事に関する事項</b></p> <ul data-bbox="831 368 1915 464" style="list-style-type: none"> <li>・ 4月1日採用の他、7月1日と10月1日にも職員中途採用を行うなど、弾力的な職員採用を行った。</li> <li>・ 採用については全て試験採用とし優秀な人材の確保に努めた。</li> <li>・ 医療現場のニーズに合わせた多彩な職種の採用を行った。</li> </ul> <p data-bbox="831 504 1131 531">【表4-4 職員の採用実績】</p> <table border="1" data-bbox="936 536 1883 1118"> <thead> <tr> <th>採用年度</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師</td> <td>5</td> <td>32</td> <td>32</td> <td>43</td> <td>112</td> </tr> <tr> <td>薬剤師</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>診療放射線技師</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>理学療法士</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>作業療法士</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>言語聴覚士</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>栄養士</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>社会福祉士</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>看護教員</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>8</td> <td>0</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>事務職</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>介護職</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6</td> <td>44</td> <td>51</td> <td>67</td> <td>168</td> </tr> </tbody> </table>	採用年度	H20	H21	H22	H23	計	看護師	5	32	32	43	112	薬剤師	0	4	3	0	7	診療放射線技師	0	3	0	3	6	臨床検査技師	1	1	1	2	5	理学療法士	0	1	1	2	4	作業療法士	0	1	1	1	3	言語聴覚士	0	1	0	1	2	臨床工学技士	0	1	2	2	5	栄養士	0	0	0	1	1	社会福祉士	0	0	0	2	2	看護教員	0	0	8	0	8	事務職	0	0	3	3	6	介護職	0	0	0	7	7	計	6	44	51	67	168
採用年度	H20	H21	H22	H23	計																																																																																							
看護師	5	32	32	43	112																																																																																							
薬剤師	0	4	3	0	7																																																																																							
診療放射線技師	0	3	0	3	6																																																																																							
臨床検査技師	1	1	1	2	5																																																																																							
理学療法士	0	1	1	2	4																																																																																							
作業療法士	0	1	1	1	3																																																																																							
言語聴覚士	0	1	0	1	2																																																																																							
臨床工学技士	0	1	2	2	5																																																																																							
栄養士	0	0	0	1	1																																																																																							
社会福祉士	0	0	0	2	2																																																																																							
看護教員	0	0	8	0	8																																																																																							
事務職	0	0	3	3	6																																																																																							
介護職	0	0	0	7	7																																																																																							
計	6	44	51	67	168																																																																																							

第1期中期目標	第1期中期計画	事業実績																																																																				
<p><b>2 職員の就労環境の整備</b>            専門的能力の十分な活用を図り、効果的な病院運営を行うため、職員の事情に応じてその能力を発揮できるような柔軟な勤務形態を取り入れるなど、職員の生活環境に配慮した病院運営を行うこと。特に、病院は女性の多い職場であるため、これに配慮すること。</p> <p>また、日常業務の質の向上を図り、患者の安全を守るために必要な職員の就労環境を整備すること。</p> <p><b>3 医療機器・施設整備に関する事項</b>            医療機器・施設整備については、統合再編に関する増改築・改修も含め、費用対効果、地域住民の医療需要、医療技術の進展などを総合的に判断して着実に実施すること。</p>	<p><b>2 職員の就労環境の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>専門的能力を十分に活用し、効果的な病院運営を行うため、職員の事情に応じてその能力を発揮できるような柔軟な勤務形態などを取り入れるとともに、職員の安全・安心に配慮した病院運営を行う。育児中の女性職員のために現在の院内保育所を24時間対応にするなど、職員の就労環境の改善に努める。</li> </ul> <p><b>3 医療機器・施設整備に関する事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本中期計画期間中における医療機器・施設整備に関する総投資額については、以下のとおりとする。</li> </ul> <p>なお、医療機器・施設整備に当たっては、費用対効果、地域住民の医療需要、医療技術の進展などを総合的に判断して着実に実施することとする。</p>	<p><b>2 職員の就労環境の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>給与制度は国立病院機構、県、市の制度を基本とし、承継職員の給与水準を維持できるように規程を整備した。</li> <li>その他、労働条件に関する制度などについても、県、市の制度を基本とし、条件が悪化しないように配慮した。</li> <li>育児休業制度については、県・市の制度を基本とした制度とし、3年間の育児休暇取得ができるようにした。</li> <li>院内保育所の拡張により定員を増やすとともに、24時間保育を導入した。また、病児・病後児保育に関して病院職員枠を設けて実施した。</li> <li>女性医師が妊娠・出産しても安心して働ける職場環境づくりのため、短時間勤務制度の検討を行った。なお、H24以降も継続して検討することとしている。</li> </ul> <p>・ 福利厚生については市町村共済組合に加入したことにより同組合の事業に参加するとともに、病院独自の福利厚生事業（健康教室、ポウリング大会、パレーボール大会、同好会助成など）を実施した。</p> <p><b>3 医療機器・施設整備に関する事項</b></p> <p>【表4-5 施設・医療機器整備の実績】</p> <p style="text-align: right;">単位：百万円</p> <table border="1" data-bbox="898 730 1850 1161"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="4">年度</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">日本海総合病院</td> <td>建物(建設仮勘定を含む)</td> <td>149</td> <td>2,167</td> <td>3,458</td> <td>312</td> <td>6,086</td> </tr> <tr> <td>医療機器</td> <td>291</td> <td>437</td> <td>1,065</td> <td>438</td> <td>2,231</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>440</td> <td>2,604</td> <td>4,523</td> <td>750</td> <td>8,317</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">酒田医療センター</td> <td>建物(建設仮勘定を含む)</td> <td></td> <td></td> <td>33</td> <td>856</td> <td>889</td> </tr> <tr> <td>医療機器</td> <td>169</td> <td>73</td> <td>8</td> <td>11</td> <td>261</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>169</td> <td>73</td> <td>41</td> <td>867</td> <td>1,150</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">計</td> <td>建物(建設仮勘定を含む)</td> <td>149</td> <td>2,167</td> <td>3,491</td> <td>1,168</td> <td>6,975</td> </tr> <tr> <td>医療機器</td> <td>460</td> <td>510</td> <td>1,073</td> <td>449</td> <td>2,492</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>609</td> <td>2,677</td> <td>4,564</td> <td>1,617</td> <td>9,467</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	区分	年度				計	H20	H21	H22	H23	日本海総合病院	建物(建設仮勘定を含む)	149	2,167	3,458	312	6,086	医療機器	291	437	1,065	438	2,231	計	440	2,604	4,523	750	8,317	酒田医療センター	建物(建設仮勘定を含む)			33	856	889	医療機器	169	73	8	11	261	計	169	73	41	867	1,150	計	建物(建設仮勘定を含む)	149	2,167	3,491	1,168	6,975	医療機器	460	510	1,073	449	2,492	計	609	2,677	4,564	1,617	9,467
病院名	区分	年度				計																																																																
		H20	H21	H22	H23																																																																	
日本海総合病院	建物(建設仮勘定を含む)	149	2,167	3,458	312	6,086																																																																
	医療機器	291	437	1,065	438	2,231																																																																
	計	440	2,604	4,523	750	8,317																																																																
酒田医療センター	建物(建設仮勘定を含む)			33	856	889																																																																
	医療機器	169	73	8	11	261																																																																
	計	169	73	41	867	1,150																																																																
計	建物(建設仮勘定を含む)	149	2,167	3,491	1,168	6,975																																																																
	医療機器	460	510	1,073	449	2,492																																																																
	計	609	2,677	4,564	1,617	9,467																																																																

第1期中期目標	第1期中期計画	事業実績																																																																																																								
<p><b>4 法人が負担する債務の償還に関する事項</b></p> <p>山形県及び酒田市に対し、地方独立行政法人法第66条第1項に規定する地方債のうち、法人の成立の日までに償還されていないものに相当する額の債務を負担すること。また、その債務の処理を確実に行うこと。</p>	<p><b>4 法人が負担する債務の償還に関する事項</b></p> <p>県・市病院機構は、山形県及び酒田市に対して負担する債務の元利償還を確実に行う。</p>	<p><b>4 法人が負担する債務の償還に関する事項</b></p> <p>【表4-6 長期償還計画】図13 <span style="float: right;">単位：百万円</span></p> <table border="1" data-bbox="844 220 2136 368"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>元金</td> <td>1,519</td> <td>1,655</td> <td>1,686</td> <td>1,696</td> <td>1,576</td> <td>1,708</td> <td>1,768</td> <td>2,085</td> <td>2,095</td> <td>2,192</td> <td>1,718</td> <td>1,411</td> </tr> <tr> <td>利息</td> <td>679</td> <td>577</td> <td>540</td> <td>545</td> <td>514</td> <td>417</td> <td>399</td> <td>369</td> <td>334</td> <td>297</td> <td>259</td> <td>226</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,198</td> <td>2,232</td> <td>2,226</td> <td>2,241</td> <td>2,090</td> <td>2,125</td> <td>2,167</td> <td>2,454</td> <td>2,429</td> <td>2,489</td> <td>1,977</td> <td>1,637</td> </tr> </tbody> </table> <p>図13 元利償還金の推移</p>  <table border="1" data-bbox="943 456 2085 1066"> <caption>図13 元利償還金の推移 (単位：百万円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>元金</th> <th>利息</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H20</td><td>1,519</td><td>679</td><td>2,198</td></tr> <tr><td>H21</td><td>1,655</td><td>577</td><td>2,232</td></tr> <tr><td>H22</td><td>1,686</td><td>540</td><td>2,226</td></tr> <tr><td>H23</td><td>1,696</td><td>545</td><td>2,241</td></tr> <tr><td>H24</td><td>1,576</td><td>514</td><td>2,090</td></tr> <tr><td>H25</td><td>1,708</td><td>417</td><td>2,125</td></tr> <tr><td>H26</td><td>1,768</td><td>399</td><td>2,167</td></tr> <tr><td>H27</td><td>2,085</td><td>369</td><td>2,454</td></tr> <tr><td>H28</td><td>2,095</td><td>334</td><td>2,429</td></tr> <tr><td>H29</td><td>2,192</td><td>297</td><td>2,489</td></tr> <tr><td>H30</td><td>1,718</td><td>259</td><td>1,977</td></tr> <tr><td>H31</td><td>1,411</td><td>226</td><td>1,637</td></tr> </tbody> </table>		H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	元金	1,519	1,655	1,686	1,696	1,576	1,708	1,768	2,085	2,095	2,192	1,718	1,411	利息	679	577	540	545	514	417	399	369	334	297	259	226	合計	2,198	2,232	2,226	2,241	2,090	2,125	2,167	2,454	2,429	2,489	1,977	1,637	年度	元金	利息	合計	H20	1,519	679	2,198	H21	1,655	577	2,232	H22	1,686	540	2,226	H23	1,696	545	2,241	H24	1,576	514	2,090	H25	1,708	417	2,125	H26	1,768	399	2,167	H27	2,085	369	2,454	H28	2,095	334	2,429	H29	2,192	297	2,489	H30	1,718	259	1,977	H31	1,411	226	1,637
	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31																																																																																														
元金	1,519	1,655	1,686	1,696	1,576	1,708	1,768	2,085	2,095	2,192	1,718	1,411																																																																																														
利息	679	577	540	545	514	417	399	369	334	297	259	226																																																																																														
合計	2,198	2,232	2,226	2,241	2,090	2,125	2,167	2,454	2,429	2,489	1,977	1,637																																																																																														
年度	元金	利息	合計																																																																																																							
H20	1,519	679	2,198																																																																																																							
H21	1,655	577	2,232																																																																																																							
H22	1,686	540	2,226																																																																																																							
H23	1,696	545	2,241																																																																																																							
H24	1,576	514	2,090																																																																																																							
H25	1,708	417	2,125																																																																																																							
H26	1,768	399	2,167																																																																																																							
H27	2,085	369	2,454																																																																																																							
H28	2,095	334	2,429																																																																																																							
H29	2,192	297	2,489																																																																																																							
H30	1,718	259	1,977																																																																																																							
H31	1,411	226	1,637																																																																																																							